

平成 25 年 7 月 31 日

第 35 回 代表幹事会議事録

◇ 日時

◆ 平成 25 年 7 月 20 日（土） 午後 0 時 30 分～4 時

◇ 場所

◆ 東京ガス四谷クラブ 4 階

◇ 出席

菊池朝陽同窓会副会長以下、41 名

◇ 挨拶

◆ 菊池副会長

◇ ワークショップ

◆ 開催目的を説明 吉村幹事長提案

- * 母校創立 100 周年の平成 34 年（2022）までに朝陽同窓会は何をなすべきか？
本日は代表幹事の皆様のお知恵を拝借してアイデアを出して頂き、結果を長期活動計画として取りまとめたい。
- * 朝陽同窓会の重点とする目標は、以下の 3 点である。
 - ・ 会員同士の親睦の輪の更なる拡大
 - ・ 府立六中以来の伝統の継承
 - ・ 組織・財政基盤の確立
- * これらの目標を達成し、平成 34 年には日本一の同窓会との評価を受けたい。
- * 目標を達成できたかどうか具体的な数値目標を掲げる必要があるが、例えば以下の様なものである。数値そのものは次回の代表幹事会に事務局から提案する。
 - ・ 親睦（例えば）
 - － 総会参加人数を今年の 163 名から戸山高校城北会を追い越す 700 名にする。
 - － 代表幹事会の毎回の参加者数を昨年の平均 40 名から 120 名に増やす。
 - － 支部朝陽会への参加人数を、昨年度の参加人数の 3 倍増とする。
 - － 戸山新宿交流戦への参加人数を、昨年度の参加人数の 3 倍増とする。
 - － 朝陽クラブの出席者を現在の 4 倍増にする。
 - ・ 伝統（例えば）
 - － 母校新宿高校が推進校から重点校へ昇格する。
 - － 臨海教室を平成 34 年も継続している。
 - ・ 組織財政基盤（例えば）
 - － 支部朝陽会を現在の 7 支部から 14 支部にする。
 - － 会費収入を現在の年間 500 万円から 3 倍増の 1,500 万円とする。
 - － 新卒業生の入会金納入者を現在の 245 名から、300 名とする。
 - ・ 日本一の同窓会（例えば）
 - － 都立某有名校以上の同窓会との評価を受ける。

◆ 出席者の提案（発言順）

- * 興国の鐘を復元しよう。
- * 校歌・健児の歌の100周年記念バージョンを作ろう。
- * 朝陽祭の2日目を地域連携の日とするなど、新宿地区の店・企業等との協賛行事を開催し、地域と連携しよう
- * 内藤家の縁で高遠高校との交流を始めよう。
- * 各支部朝陽会と地元高校同窓会との交流を図ろう。
- * 1億円基金を作り、それを基に現役生に奨学金制度を創設しよう。
- * 新宿高校を中高一貫教育校に再編し、6年間徹底的に伝統を継げよう。
- * 卒業生と現役で構成する朝陽合唱団を創設しよう。
- * 林間学校がなく水上寮に行ったことがないので、水上寮を存続させたい。
- * 各支部、同期会等からの意見の吸い上げなど、多様なアイデアを広く集めるシステムを構築しよう。
- * 今度の100年史は同窓会行事として、しっかりしたものを作りたい。
- * 100年時点での中心的世代である30～50回生の出席数（幹事会、総会その他）の増加を今から手をつけよう。
- * 連絡手段としてフェイスブックを活用しよう。
- * 戸山高校のようなクラブハウスを作ろう。
- * 朝陽祭の当日にホーム・カミングデーを創設しよう。
- * 若い人にメリットがあるようなOB訪問制度を作ろう？
- * 100周年記念式典参加者数は圧倒的人数を目標に掲げて早めに動き出そう。フェイスブックも活用し、同期会が中心になって人数集めをしよう。
- * 同窓会へは強制加入させよう。
- * 同期会やクラス会を中心とした同窓会組織を再編しよう。

◆ 別途書面による提案

- * 同窓会総会開催のお知らせは「朝陽」に1枚印刷した紙を入れると気が付く人が増えるのでは？
- * 卒業生が自動的に入会できる仕組みを作ろう。
- * 例えば環境分野での講演など社会人教育への参画協力や朝陽祭りでの展示・講演会実施、あるいは就職支援活動など在学生にとっても役に立つ活動を行なおう。
- * データベースやフェイスブックを作ろう。
- * 100周年記念祝賀会には1,000人集めよう。
- * ハードカバーの100周年記念誌を同窓会で作ろう。
- * 100周年記念映画を作ろう。
- * 水上寮閉鎖に伴い群馬県に提携先を探し、山の家など借りよう。
- * 「朝陽時報」、母校「50年史～90年史」「朝陽」のデジタル化などアーカイブスの充実を図ろう。
- * 各期同期会の活動状況を把握し、不活発な回には支援の手を差し伸べよう。
- * 役員・事務局員に定年の目安を設定し、「副」の引き継ぎ期間を十分に確保しよう。
- * 100年記念事業検討委員会を立ち上げよう。

◆ 事務局よりの提案

- * 卒業後××周年のホーム・カミングデーを開催しよう。
- * 積極的に同期会開催を呼びかけよう。要望があれば事務的な仕事は事務局が代行することで同期会開催を促進させよう。
- * 男女共学65周年の会を開催しよう。
- * 女子会朝陽クラブを開催しよう。
- * 百人一首やバスケットなど戸山高校城北会との交流戦種目を増そう。
- * 千葉、湘南、シンガポールなど支部の増設を図ろう。
- * 「朝陽」のカラー化、大型化、グラビア化を図ろう。
- * ホームページを刷新し、より多くのアクセスを得よう。
- * 代表幹事の各プロジェクトへの参画度を向上させよう。
- * 代表幹事が活動計画に参画できるよう委員会制度を作ろう。
- * 代表幹事と役員・事務局との懇親会を年1回は開催しよう。
- * 代表幹事へ更なる出席を促し、場合によってはメンバーの交代を図ろう。
 - * 「朝陽」に会費納入者名を掲載しよう。
 - * PTA役員、PTA役員OB会、及び学校側との懇親会を年2回に増やそう。
 - * PTAとのホームページの相互乗り入れを図ろう。

◆ 今後の予定

- * 次回の代表幹事会では事務局からどのようにして長期活動計画を推進してゆくか、具体案を提示する。